

バイオディーゼル燃料で、ごみ収集車を走らせる！

実証実験の経過報告【岐阜県関市】

～学校給食センターの廃食油を、バイオディーゼル燃料としてリサイクル～

目的と内容

岐阜県関市では、「ゼロカーボンシティ宣言」の取組の一環として、(有)関環境サービスと覚書を締結し(令和4年9月28日締結)、学校給食センターの廃食油をバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、軽油の代わりにごみ収集車の燃料とする実証実験を10月1日から開始しました。

この取組みにより、ごみ収集車で使用する化石燃料由来のCO₂排出量を削減し、さらに学校給食センターから排出される廃棄物の減量化を行いました。

取組の効果と今後の展開

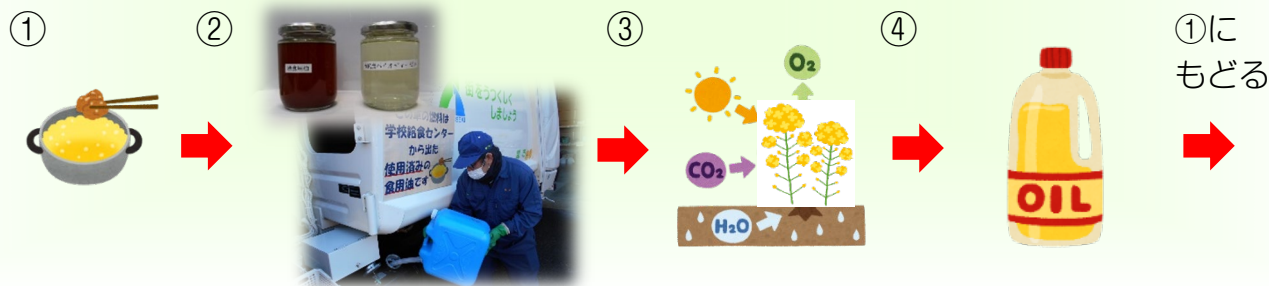
★化石燃料由来CO₂排出量を約7トン削減できました。(10/1～2/28)
これは一般家庭2世帯分の年間排出量に相当します。

★ごみ収集車の稼働状況に大きな問題なく作業ができました。
※1年を通して稼働状況の確認を行います。

★バイオディーゼル燃料の利用推進
→各家庭からも廃食油の回収を検討し、エネルギーの循環を推進します。

【バイオディーゼル燃料の循環イメージ】

- ①学校給食センターで使用された油を廃棄せずに、市内事業者がバイオディーゼル燃料にリサイクルします。
- ②バイオディーゼル燃料100%でごみ収集車を走らせます。(実証実験2台)
- ③収集車から排出されるCO₂を吸収して作物が育ちます。
- ④育った作物から植物油を作ります → ①にもどる



〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関市 市民環境部 環境課 (担当:西部) TEL:0575-23-7702
清掃事務所 (担当:田中) TEL:0575-22-0314